



## 「コウノトリ育むお米」の取扱状況 ～広がる安心安全の豊岡ブランド米～

市では、コウノトリも住める豊かな地域づくりを目指し、環境に配慮したコウノトリ育む農法を推進し、「コウノトリ育むお米」の販売促進を図っている。

安全安心でおいしいだけでなく、たくさんの生きものを育むことにつながる「コウノトリ育むお米」は高い評価を受け、豊岡の取組みに賛同した取扱い店舗数は平成 17 年から平成 22 年の間に約 7 倍に増えている。

### 1. コウノトリ育むお米取扱店の拡大状況

	平成 17 年度	平成 22 年度	比較
取扱い店舗数	59	400	+341 (+578%)

取扱い店舗数は、JA たじま出荷分

平成 22 年度は 12 月 20 日現在の店舗数で、販売開始予定を含む。

(販売店舗は別紙のとおり)

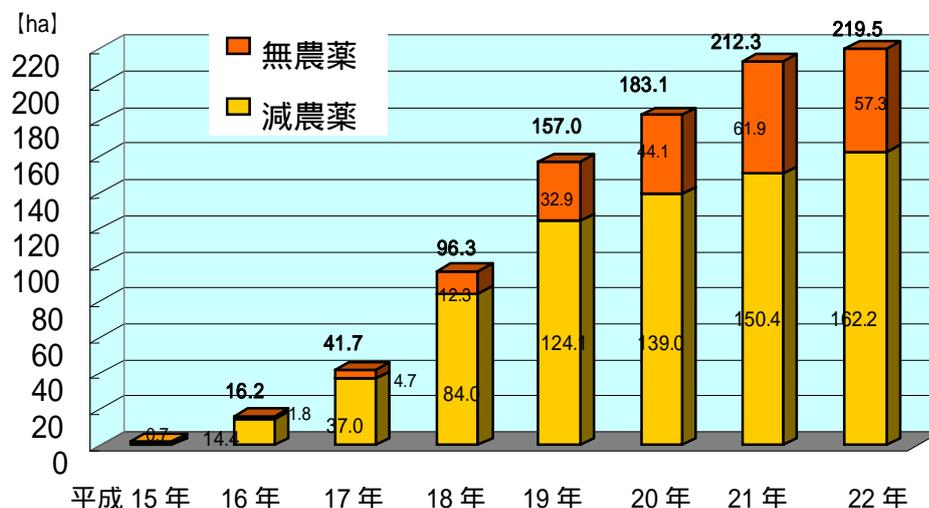
### 2. 主な取扱店

コウノトリ育むお米は、平成 22 年秋、銀座三越店内での販売が始まり、特に平成 22 年 12 月 27 日からは、沖縄の大手量販店「株式会社サンエー」の数店舗で販売が始まり（1 月 5 日現在 58 店舗まで拡大）など、徐々に広がりを見せている。

また、東京老舗スーパー「明治屋」、関西リラクゼーションサロン「クアシス」での取扱いも 12 月から始まるなど、さまざまな店舗形態で販売されるようになっている。

	販売店	販売開始	販売エリア	販売店舗数
量販店	イトーヨーカドー	平成 20 年	主に関東地方	133
	トーホーストアー	平成 21 年	兵庫県内	39
	ボンマルシェ・銀ビルストア	平成 22 年	兵庫県内	11
	明治屋ストアー	平成 22 年	関東地方、京都市	6
	サンエー	平成 22 年	沖縄県内	58
米穀店	山田屋本店(三越銀座内)	平成 22 年	関東地方	3
その他	クアシス	平成 22 年	関西地方、関東地方	11

### 市内水稲作付面積の推移





### 3. 今後の展開

本市のコウノトリ野生復帰・生物多様性などの取組みへの理解者を増やすことで、「コウノトリ育むお米」の消費拡大を図る。

「コウノトリ育むお米」のブランド価値を高めることに努める。

関係機関などと連携し、安定した消費を確保することで、市内の作付面積の増加を図る。

〔問合せ〕豊岡市コウノトリ共生部農林水産課 0796 - 23 - 1127